

令和8年度

九州大学 大学院生物資源環境科学府 農業資源経済学専攻

修士課程【一般入試第2次】【社会人入試】

専門科目 入学試験問題

【問題冊子】

注意事項

1. 問題冊子と解答用紙は、指示があるまで開かないでください。
2. 問題冊子は、表紙を除き3枚（1～3ページ）あります。
3. 問題は、専門基礎（経済学）および専門（農業資源経済学）の2種類から構成されています。
4. 専門基礎は、内容別に1問ずつ出題した2問あります。志望研究分野に関わらず1問を選択して解答してください。なお、2問解答した場合、専門基礎は採点されません。
5. 専門は、研究分野別に1問ずつ出題した5問あります。志望研究分野の問題を含む2問を選択して解答してください。なお、3問以上解答した場合、専門は採点されません。
6. 選択しなかった問の解答用紙には、大きく「×」を記してください。
7. 解答用紙は、表紙を除き7枚（1～7ページ）あります。
8. 解答始めの合図の後、すべての解答用紙（表紙を含む）に受験番号と氏名を記入してください。
9. 解答は、解答用紙の所定欄に記入してください。
10. 解答用紙の回収の際には、ホッチキス留めを外さずに、すべての解答用紙を提出してください。

専門基礎（経済学）

【ミクロ経済学】

問1. 財の生産技術の進歩が、完全競争市場で利潤最大化を行う個別企業の短期供給曲線に与える影響について、説明しなさい。ただし、固定費用に変化はないものとする。

【政治経済学】

問2. 資本の有機的構成について、以下の問いに答えなさい。

- (1) 資本の有機的構成とは何かについて、説明しなさい。
- (2) 資本の有機的構成が長期的に高度化していく理由について、説明しなさい。

専門（農業資源経済学）

【農業経済学】

問1. ともに同質な1つの農産物を生産・消費しているA国-B国間の貿易について、以下の（1）及び（2）の状況をミクロ経済学的にそれぞれ図解しなさい。ただし、B国だけが減反政策と関税政策（従量）を施行しており、市場価格はA国よりB国が高いものとする。また、2国間で輸送費や保険料は一切かからないものとする。

- （1）B国の関税率が、ある年のA国-B国間の内外価格差にちょうど等しかったため、その年のB国の輸入量はゼロであった。
- （2）翌年、B国の作付面積は変わらなかったが、凶作によりB国の単収が大きく減少したため、B国の輸入量は正となった。

【農業経営学】

問2. 農業経営の単一化と複合化について、以下の問いに答えなさい。

- （1）作目を単一化する利点について説明しなさい。
- （2）経営規模の拡大に伴い、単一経営が複合経営に移行する（複合化する）ケースもみられる。例となる作目名と経営条件を挙げ、複合化の契機と具体的な効果をそれぞれ一つずつ説明しなさい。

【フードシステム学】

問3. 下図は、卸売市場流通と直売所流通において実現しているキャベツの価格形成を、農林水産省が試算したものである。図に示されるように、一般に、直売所流通では、卸売市場流通に比べて生産者利益が増加するとともに消費者への販売価格は安くなっている。それにもかかわらず、直売所流通が青果物流通の中心的なチャネルとならない理由について、生産者と消費者の利得に着目して説明しなさい。

キャベツ156円/1玉（1kg）



【農業問題研究学】

問4. わが国の水田農業および農業政策について、以下の問いに答えなさい。

- (1) わが国の水田農業においては、農地の貸し借りが進んだとしても借り入れた農業経営体にとっての面的集積には必ずしも結びついてこなかった。その要因について説明しなさい。
- (2) 上記課題を解決するためにどのような農業政策が実施されてきたのか、またその成果と課題について、具体的な政策名を挙げて説明しなさい。

【漁業経済学】

問5. 漁業者がある特定の魚種を漁獲した時の漁獲努力量について、以下の(1)及び(2)を資源経済学の理論に基づいて説明しなさい。ただし、漁業者の総収入関数 TR と総費用関数 TC は、漁獲努力量 E の関数としてそれぞれ $TR = pY(E)$ 、 $TC = aE$ として表される。なお各変数の定義は以下の通りである。

Y : 持続的漁獲量 (持続生産量)、 p : 魚価 (一定)

E : 漁獲努力量、 a : 漁獲努力量単位当たりの費用 (一定)

- (1) オープンアクセス下にある沿岸漁場で、漁業者が特定の魚種を漁獲した時の漁獲努力量 E^{OA} を図解しなさい。
- (2) オープンアクセス下にある沿岸漁場での操業は、漁業者にとって経済的に望ましい操業とは言えない。経済的に望ましい漁獲努力量 E^* を達成させるために、行政はどのような資源管理政策を採っているかその事例を挙げて説明しなさい。

令和8年度

九州大学 大学院生物資源環境科学府 農業資源経済学専攻

修士課程【一般入試第2次】【社会人入試】

専門科目 入学試験問題

【解答例】

※専門（農業資源経済学）の問題については、受験者の専門的知識を踏まえた思考能力及び問題解決能力を評価する設問であるため非公表とする。

専門基礎（経済学）

【ミクロ経済学】

問 1.

財の生産技術の進歩は、同一量の財をより少ない費用（生産要素）で生産することを可能にするものであり、図 1 に示すとおり、当該企業の短期総費用曲線 TC を TC' に変化させるものとして表すことができる。図 1 において、任意の生産量 q^* について、短期総費用曲線変化前後の限界費用 (mc^* 、 mc'^*) および平均可変費用 (avc^* 、 avc'^*) をそれぞれ比較すると、 mc'^* および avc'^* の方が小さい。つまり、図 2 に示すとおり、財の生産技術の進歩によって、限界費用曲線 MC および平均可変費用曲線 AVC は、それぞれ MC' および AVC' へと下方にシフトする。

完全競争市場において利潤最大化を行う個別企業については、市場価格が平均可変費用の最低点よりも高い場合（図 2 においては、市場価格が変化前は p^* より、変化後は p'^* よりそれぞれ高い場合）は短期供給曲線が限界費用曲線と一致し、市場価格が平均可変費用の最低点よりも低い場合（図 2 においては、市場価格が変化前は p^* より、変化後は p'^* よりそれぞれ低い場合）は生産量がゼロとなる。

以上から、財の生産技術の進歩は、図 2 に示すとおり、当該企業の短期供給曲線を MC （ただし点 A より下側は生産量ゼロ）から MC' （ただし点 A' より下側は生産量ゼロ）へと下方にシフトさせる。

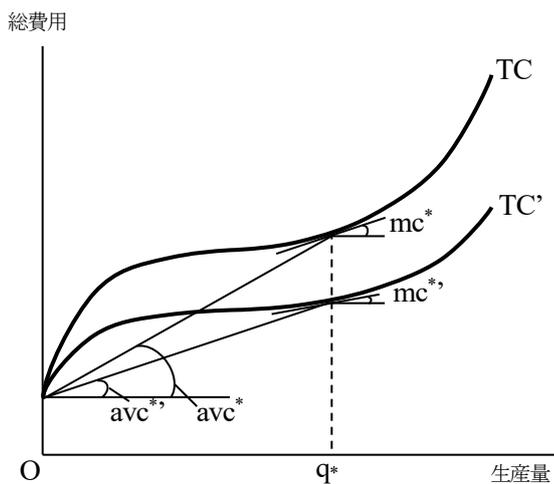


図 1

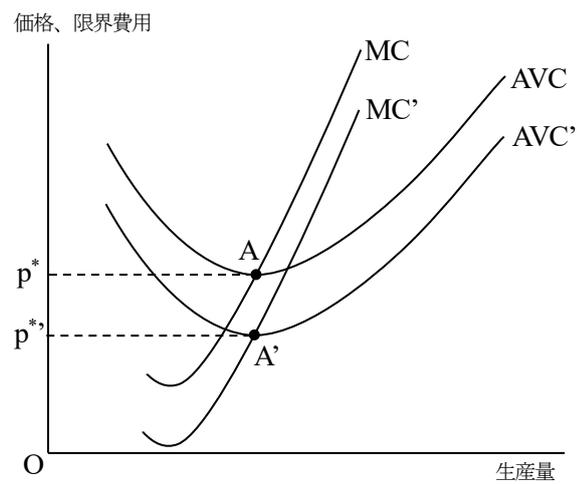


図 2

【政治経済学】

問2.

- (1) 資本の構成は価値の側面と生産過程で機能する質料の側面とから成り立っている。価値の側面においては、資本が一方では生産手段の価値（＝不変資本）と他方では労働力の価値すなわち労賃（＝可変資本）とに分かれ、この比率によって規定される構成が資本の価値構成である。これに対して、質料の側面においては、資本は一方では充用される生産手段の分量と他方ではその充用のために必要な労働力の分量とに分かれ、この比率によって規定される構成が資本の技術的構成である。資本の技術的構成によって規定されてその変化を反映するかぎりでの資本の価値構成が資本の有機的構成である。
- (2) 資本の有機的構成が長期的に高度化する理由は、資本主義的生産に内在する根本的な性質に由来する。資本主義社会の下では、各資本家は利潤を確保し競争に勝つため、常に労働生産性を高める新しい機械や生産方法を導入せざるを得ない。その結果、労働節約的な機械や設備が投入され、同じ労働力でより多くの商品を生産できるようになり、可変資本の比率は縮小し、不変資本の比率が拡大する。技術革新は一時的に特別剰余価値を生むが、競争によってそうした技術が普及するとともに、再び新しい技術の導入が強制される。こうした技術革新の不断の連鎖が構造的に不変資本の比率を高める要因となる。また、資本蓄積が進むと再投資の多くが設備更新や新技術導入に向けられ、資本の有機的構成の高度化が加速していく。こうした傾向は個別資本の選択にとどまらず、社会全体の平均的な資本の有機的構成を押し上げる力として作用し、資本主義的生産の基本的傾向として長期的に持続していく。

令和8年度

九州大学 大学院生物資源環境科学府 農業資源経済学専攻

修士課程【一般入試第2次】【社会人入試】

専門科目 入学試験問題

【出題意図】

専門基礎（経済学）

問1. ミクロ経済学に関する基礎知識を問う。

問2. 政治経済学に関する基礎知識を問う。

専門（農業資源経済学）

問1. 農業経済学に関する専門知識とそれを踏まえた思考能力及び問題解決能力を問う。

問2. 農業経営学に関する専門知識とそれを踏まえた思考能力及び問題解決能力を問う。

問3. フードシステム学に関する専門知識とそれを踏まえた思考能力及び問題解決能力を問う。

問4. 農業問題研究学に関する専門知識とそれを踏まえた思考能力及び問題解決能力を問う。

問5. 漁業経済学に関する専門知識とそれを踏まえた思考能力及び問題解決能力を問う。